

名古屋帝国大学から「名古屋大学」へ

今から75年前の1949（昭和24）年5月31日、国立学校設置法の施行により、全国一斉に新制国立大学が誕生しました。ほとんどの国立総合大学は、現在の名称としてこの時に創立されています。ただし名大が「名古屋大学」となったのは、その1年半余り前のことです。

旧制の教育制度の下、大学の設置を定めていたのは大学令ですが、これとは別に「帝国大学令」がありました。帝国大学は複数の学部を総合して構成するものとされ、実際に旧制下の国立総合大学は帝国大学のみでした。

敗戦後も帝国大学令は効力を維持しますが、1947年10月1日、「国立総合大学令」と改称されました。条文も、「帝国大学」を「国立総合大学」に替えた以外はそのままです。これに伴い、帝国大学の名称や職員人事を定める帝国大学官制も国立総合大学官制に改められ、各帝国大学の名称から「帝国」が削除されました。こうして名

大は、1947年10月1日、旧制大学のまま「名古屋大学」と改称したのです。

1949年5月31日には、名大も新制大学に移行するわけですが、旧制の「名古屋大学」は学校教育法で存続を許された「従前の規定による学校」として新制名大に包括され、その学長は新制名大の学長が兼務しました。これは、在学中の旧制学生が卒業するまでの措置と、旧制大学卒業者に博士の学位を授与するために旧制大学院が必要とされたからです。1962年4月1日には、この旧制名大も廃止されました。

ところで、それでは「名大」の略称も1947年からかというそうではなく、1930年代の名古屋医科大学時代からでした。当時の名古屋市にはほかに大学はなく、「名大」でも十分通じたのです。もっとも、「名医大」や「名帝大」の略称も使われていました。



- 1 帝国大学に係る勅令の「帝国大学」の文言を「国立総合大学」に改め、各帝国大学の名称から「帝国」を削除することを定めた、1947年政令第204号の一部（9月30日公布、10月1日施行）。
- 2 空襲で焼け残った鶴舞の附属図書館内の講堂で行われた、名古屋帝国大学卒業式の記念写真（1946年9月）。
- 3 名古屋大学東山キャンパスの航空写真（1947年11月撮影、国土地理院所蔵）。当時は、戦時中に建設された木造校舎しかなく、さらに空襲の被害もうけていた。

BRIEF HISTORY OF NAGOYA UNIVERSITY

名古屋大学の卒業生、
現役・退職後の教職員の方々へ

名大史をつむぐ資料を
大学文書資料室に!

- 在学時の配布物
(学生便覧、シラバス、試験問題、課外活動の資料…)
- 教育・研究活動、大学・部局運営に関する資料
(各種書類、会議のメモ、備忘録、スクラップ記事、写真…)
- 校費による印刷物・刊行物
(冊子、パンフレット、ポスター…)
- ご退職関係の記念冊子・記念論集・業績集… など

※その他、ご処分予定の資料についても、まずは下記へご一報ください。

東海国立大学機構大学文書資料室

TEL 052-789-2046
Mail nua_office@cc.nagoya-u.ac.jp